



【開催報告】「ハンズホールディングスCUP」初の全国大会 大盛況で閉幕、王者は「千葉県代表」！

ハンズホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長兼グループCEO：徳村有聡）は、2026年2月1日（日）、等々力球場（神奈川県川崎市）にて、日本知的障がい者ソフトボール連盟主催「ハンズホールディングスCUP2025 全国大会」を開催いたしました。初の全国大会となる本大会には、東西で優秀な成績を修めた6チームが集結し、決勝戦では「千葉県代表」が「東京都代表」を9-1で下し、見事王者の栄冠に輝きました。当日は約350名が来場し、障がい者スポーツの新たな可能性を感じさせる1日となりました。

■元横綱・白鵬氏、元大関把瑠都氏との夢の「1打席対決」！

特別イベントとして行われた「1打席対決」では、元横綱白鵬氏と元大関把瑠都氏が登場し、本大会参加チーム「オール宮城ソフトボールクラブ」の大高投手との真剣勝負を繰り広げました。障がい者ソフトボールの生きた球を体感した白鵬氏は対決後「超気持ちいい！久しぶりにソフトボールをやりたいくなった。」と笑顔でコメントし、会場からは大きな歓声が上がりました。実際に打席に立ったスポンサー企業の方々からも「対戦できて楽しかった」「いかにハイレベルな試合で行っているか体感できた」と称賛の声があがりました。



ヒット後の白鵬氏

1打席対決で投球した選手と
白鵬氏・把瑠都氏

試合開始前の整列



応援に力が入る観客席

■五輪メダリストによる特別指導「ソフトボール・クリニック」

試合と並行して、高山樹里氏を中心とした五輪メダリストら元ソフトボール選手6名による「ソフトボール・クリニック」を開催しました。クリニックでは一人一人に丁寧な指導が行われ、選手たちの素早い投球の音が鳴り響き、真剣な眼差しで指導を受ける姿が見られました。



メダリストらの指導に応え練習に励む選手たち

■大会結果

- ・優勝：千葉県代表
 - ・準優勝：東京都代表
 - ・MVP 白鵬賞：谷奥大晴 選手（千葉県代表）
 - ・MVP 把瑠都賞：滝颯太 選手（千葉県代表）
- ※MVP受賞者には、両氏の手形付き色紙が授与されました

■閉会式コメント（抜粋）

- ・日本知的障がい者ソフトボール連盟 相澤理事長：「制限時間の中でもスポーツの本質を感じる素晴らしい大会だった。国際大会の開催も視野に入れている。今日の感動を胸に、これからも共に歩んでいきましょう」
- ・元シドニー五輪 銀メダリスト 高山樹里氏：「皆さんのプレーを見て、指導者一同も熱い思いを感じました。今後もソフトボールを通じて絆を深め、頑張っていってほしいです。」
- ・元横綱 白鵬氏：「スポーツとスポーツ、人と人との関係を通じて、また一緒にやっていきたいと思う。今後もしっかり！」



王者に輝いた千葉県代表チーム

■今後の展望：ハンズホールディングス株式会社 徳村有聡CEOより、閉会式でのコメント

「全国大会の名にふさわしい見応えのある試合の連続でした。皆さんのプレーを通じて、たくさんの勇気とエネルギーをもらいました。本大会に関わってくださった皆様のご協力により、共生社会実現へまた一歩踏み出せたと確信しています。企業の力、スポーツの力、そして皆さんの思い、そのすべてがこの場を広げるエネルギーとなり共生社会が広がっていきます。どんどん盛り上げていくので、力を合わせて、さらなる未来を作っていきます。」

■【あと4日】クラウドファンディングは2月7日まで

「挑戦！知的障がい者ソフト2026」皆様の応援が、知的障がい者ソフトボールの未来を切り拓く力になります。残りわずか、お力添えをお願いいたします。

▶ <https://camp-fire.jp/projects/898150/view>



【大会の意義】

本大会は、障がいの有無を超えて共に歩む共生社会の実現を目指し、スポーツを通じた挑戦と感動、交流の輪を広げることを目的に開催します。知的障がいのある選手たちが大会を通じて情熱を発揮できる舞台を提供し、競技の認知向上と障がい者支援の輪を広げ、更なる共生社会の実現を目指します。

【知的障がい者スポーツの現状】

現在、パラリンピック全22競技の中で知的障がい者が出場できる競技はわずか3種目に限られています。知的障がいと運動能力の相関が明確でなく公平な協議枠設定が難しいというのが大きな理由です。また、都道府県や競技種目によって支援体制に格差がみられることも要因になっています。

背景には、競技全体の認知度の低さがあり、東京都の調査（2022年）では、パラリンピック全22競技のうち約8割が認知度50%未満と報告されています。このような状況下に加え、十分な支援金が集まらない環境の中でも、日々練習に励む選手たちの姿が全国各地にあります。



【知的障がい者ソフトボールと弊社との出会い】

私たちハンズホールディングスは、障がい者雇用の取り組みの一環として、創業の地仙台市にある特別支援学校を訪問したことがきっかけで、日本知的障がい者ソフトボール連盟の理事を務める先生と出会いました。その際、同競技を取り巻く現状や課題を知りました。このことが弊社がどのような支援をできるのかを考える機会となり、知的障がい者スポーツへの理解と支援の輪を広げることを目的に、本大会の運営に踏み出す契機となりました。



【これまでとこれから】

ハンズホールディングスCUPは、弊社が取り組む知的障がい者ソフトボール支援のプロジェクトです。2024年度より2年に渡り東日本大会を開催し、この度全国大会を開催しました。弊社は主管企業として、知的障がい者バラスポーツの普及促進と支援体制の拡大を推進すると共に、共生社会の実現に向け、海外との親善試合も計画に入れ継続的に本活動を展開していきます。



【大会概要】

名称：日本知的障がい者ソフトボール 全国大会 ハンズホールディングスCUP 2025

日程：2026年2月1日（日）

時間：8:30 - 17:00

場所：等々力球場（神奈川県川崎市中原区等々力1）

主催：日本知的障がい者ソフトボール連盟

主管：ハンズホールディングス株式会社

来場者：約350人

入場料：無料

出場チーム：都道府県予選後選抜された 知的障がい者ソフトボール6チーム



Copyright © 川崎とどろきパーク

●本大会サイト URL：<https://hands-holdings.co.jp/softball/>

大会公式ホームページ



インスタグラム



【ハンズホールディングス株式会社 会社概要】

社名：ハンズホールディングス株式会社

本社所在地：〒101-0021 東京都千代田区外神田三丁目12番8号 住友不動産秋葉原ビル17階

設立：2021年2月（グループ創業：1987年4月）

事業内容：持株会社・グループ全体の経営方針策定および経営管理等

代表者：代表取締役社長兼グループ CEO 徳村 有聡

URL：<https://www.hands-holdings.co.jp/>



＜グループ企業＞

株式会社チョウエイハンズ（総合建設事業）

株式会社ハンデックス（業務請負／設備工事事業）

株式会社ハンズキャリア（人材派遣事業）

株式会社ハンズグローバル（グローバル人材サービス事業/日本語教育事業）

株式会社シェイクハンズ（障がい者向け各種業務受託・作業請負・教育訓練・研修受託）

【本件に関するお問い合わせ先】

ハンズホールディングス株式会社 大会実行委員会 / 広報 船津

TEL：080-6078-1169 MAIL：hhcup@hands-holdings.co.jp



スポーツ庁が実施するバラスポーツを推進するプロジェクト

ハンズホールディングス株式会社はU-SPOET PROJECTに加盟しています。